

生徒総会のあいさつとして「決まりと自治」の二つの話をします。

まず、決まりです。

「O n e T e a m」

昨年、日本中を沸かせたラグビー日本チームと応援するファンの心を一つにつなぐ言葉でした。トヨタやサントリーなどの企業のチームには世界の強豪国の代表選手が在籍しています。彼らが日本での選手生活を選ぶ理由の一つは、日本が安全・安心でよりよい生活ができるからです。この安全・安心は日本の決まりと決まりを守る日本人の心からくるものです。決まりやルール、規則や法律がなかったどうなるでしょうか。この安全・安心はなくなってしまうかもしれませんね。決まりは、私たちの生活を制限したり罰したりするだけのものではありません。多くの人が集まった社会の中での私たちの生活の安全や人権、命を守っているのです。

学校の校舎のことや勉強をしなければならないことも法律に定められています。先生たちでも変えることができないルールもあります。また、校則がない学校もあります。「校則がない」とだけ聞くと嬉しく思う人と心配に思う人がいるかもしれません。校則がない代わりに、子どもであっても、大人と同じレベルで社会の法律やマナー、モラルを守っているそうです。決まりを守ることは、自分と他人を守ることになるのです。ルールがあるから平等で、安全・安心なのです。

ラグビーはボールを前にパスすることはできません。列をつくり後ろにパスをしながらチーム全体がゴールへ進んでいきます。前にパスをしたまま試合を続けたらルール違反です。それが許されたらラグビーではありません。テニスのサーブを野球のバットで打ち返すようなものでしょうか。どのスポーツもルールで決められた条件の中でチームや個人が磨き上げた力や技を競い合います。だからこそ、勝ち負けの結果に自分たちの練習内容や態度、取り組む姿勢を振り返ることができるのです。そして、反省をその後の練習にいかすことで次の大会で目標とする結果が得られるのです。ルールがあるから強くなれるのです。

次に、自治です。

私たちは決まりに守られる中で、自らよりよい生活をする権利を持っています。学校には決まりがあります。その中で生徒会活動は、全ての生徒の皆さんが、係活動などの取組を通して、集団としてふさわしい、安全で安心なよりよい学校生活ができること、そして、自分たちの力で作り上げたという達成感を得ることができます。支配や命令によって動かされているのではなく、自分たちの意思をもち、主体的に考えて行動する活動です。このことを自治活動というのです。チーム全員がルールに従ってパスをしながら前に進んでいくようなものです。生徒会活動という自治活動をするからこそ東彼杵中生徒会が強いチームとなって前へ進んでいくのです。

今日の生徒総会を経て、チーム東彼杵中が一層「O n e T e a m」となっていくことを期待します。。